

坂本章 《掛分組浅鉢(かけわけくみあさばち)》

2005(平成17)年 陶器(大・1点) 直径55.5cm 高さ11.0cm (小・6点)直径23.8~24.4cm 高さ6.0cm

漆黒のボディに、ミントグリーン
の真円。そしてかすかに流れる緑釉の
水平線。計算されたシンプルさと、焼
成に微妙に左右される「ゆらぎ」の共存。
本作《掛分組浅鉢》は、鳥取民藝運動
の流れをくむ因州中井窯の三代目陶工・
坂本章(1965年~)による作品です。

本作は、1024点の応募があった平成
17年度の「第18回 日本陶芸展」にお
いて、大賞、準大賞に次ぐ第3位の評
価を得、優秀作品賞を受賞、さらに実
用陶器部門(179点)の中では第1位で
した。当館は、本県ゆかりの故・生田
和孝と故・瀬戸浩、そして前田昭博に
続くこの快挙を受け、本受賞の歴史的
な意義を評価し、平成18年度に本作を
収集しました。

河原町(現・鳥取市)に生まれた坂
本章は、高校卒業後、父で中井窯二代目
の坂本實男に弟子入り以降、一貫して
实用陶器の制作に取り組んでいます。
さらに平成12年からは著名な工業デザ
イナー柳宗理デザインの陶器を制作し

ている彼の近年の作陶姿勢は、伝統の
中にも自己の創意、現代的な感覚を加
えようというもので、本作にもそれは
見て取れます。

まだ40代前半の坂本にとって本作は、
あくまでも自己の作陶を極める途上で
開花した一輪の花であり、ここからま
た彼の作風が変わりゆくことは十分予
想されます。しかし、こういった受賞
作は本県の美術・工芸史を編んでいく
上でも重要です。このような記念碑的、
指標的意味を持つような作品は今後も
積極的に収集していきたいと私たちは
考えています。

(調査担当学芸員 三浦 努)



コラム

没後200年 鳥取藩絵師・土方稻嶺

1807(文化4)年、江戸時代後期の
鳥取を代表する一人の絵師が没しました。
その絵師の名は土方稻嶺。「鳥取画壇
の祖」と称される鳥取藩絵師です。

1741(寛保元)年に生まれた稻嶺は、
幼い頃から画を好み、やがて中国の画
家・沈南蘋の画風を慕って上京。そし
てその弟子・宋紫石の門に入り、稻嶺
の技能に勝る者はいないと評された
と言われます。一時京に留まった後、
稻嶺の名声を聞いた鳥取藩の家老の推
薦により1798(寛政10)年鳥取藩絵師
となります。間もなく江戸詰を命じられ、
藩主と直接対談できる親しい間柄とな
りますが、1807(文化4)年3月24日
67歳で鳥取に没しました。(家譜には
文化6年病死と記されています)

稻嶺の流れを汲む鳥取藩政時代の絵
師として黒田稻卓、小畑稻升がいますが、
彼らも好んで鯉を描いています。

稻嶺が描く鯉は物怖じせず、ゆった
りと堂々と泳ぎ、作者の風格をも感じ



土方稻嶺《遊鯉図》(絹本着色、当館蔵)

させます。

稻嶺の高弟で「鯉の稻卓」と称され
た稻卓は、渦巻きやS字形に多くの
鯉を配置し、鯉の大小などによっ
てリズム感を表しています。また、
稻卓に学んだ稻升が描く鯉の絵は、
水面から勢いよく飛び跳ね、宙に浮
かんだ一瞬を捉え、躍動的です。

今年に土方稻嶺が没してちょうど
200年。これを機に土方稻嶺を中心
に、周辺の絵師の作品も紹介する近
世美術展示を計画しています。

(美術担当学芸員 門脇 博)

学芸員という仕事 第3回

前回は作品借用の苦勞をお話しまし
たので、今回は貸し出しの苦勞につ
いて書くことにします。借用なら
ともかく、なぜ貸し出しに苦勞し
なければならないかと思われるか
もしれませんが、学芸員にとって
所蔵する作品をよい状態で後世に
伝えることは最も重要な仕事です。
そのためには貸し出す作品が望ま
しい状態で輸送、展示されている
かを常にチェックする必要があります。

通常であれば、貸す側と借りる側が
立ち会って作品を点検した後は、
展示条件や責任範囲に合意したう
えで輸送や扱いについては借り受
けた相手に任せます。したがって
作品の貸借にあたって当事者同
士の信頼関係は大変重要な意味を
もちます。さらに作品を大量に貸
し出す場合や扱いの難しい作品を
貸しつける場合は、作品に所蔵館
の学芸員が同行することを条件と
する場合があります。作品に同行
する学芸員をクーリエといい、旅
費や滞在費は借りる側の負担とな
ります。クーリエがつくというこ
とは、貸す側、借りる側が
いずれもその作品を重要視してい
ることの証左といえるでしょう。

作品を海外へ貸し出す際には多くの
場合、学芸員をクーリエとして派遣
することを条件にします。航空便へ
の積み込みや海外での作品の扱い
についてはその場で指示する必要
があるからです。私も以前勤務して
いた美術館で何度かクーリエを体
験しましたが、海外出張という優
雅なイメージからほど遠いきつい
仕事ばかりでした。貨物便は午前
3時といった非人間的な時間の発
着が多く、空港の寒いトラックヤ
ードで何時間も待たされることも
しばしばです。スペインにピカソ
を貸し出した際には直行便がな
かったため、夕方パリに到着した
後、作品をトラックに積み込んで
陸路を一晩走り続けて翌日の昼
頃にバルセロナに運び込みまし
た。この際は日本から同行した数
名のクーリエが交代でトラックの
運転席の上に設えられた身動きも
できないような狭い空間に身を横
たえました。時差などどこかに
吹っ飛び、学芸員の基本が体力
であることをあらためて思い知る
体験でした。

(美術振興課長 尾崎 信一郎)

山陰海岸学習館で海の自然体験をしよう！

山陰海岸学習館が県立博物館の新しい海の活動拠点となってからはや一年が経過しようとしています。2006年度は試験的にさまざまなイベントを実施して、来館者の興味・関心を探ることに努めました。そして、2007年4月から本格的に山陰海岸学習館の自然体験活動がスタートします。豊かな自然に囲まれた学習館の立地環境を活かして、自然の大切さを楽しく学べるような野外観察会や講座を企画しています。例えば、毎年恒例の「磯の観察会」では、講師の先生とともに身近な海の楽しさを体感できるイベントとして、家族を対象にした一日プログラムを用意しています。浦富海岸スノーケリング体験は一般の方々（高校生以上）を対象に、海面に浮かんでいるだけで海中世界を楽しめるイベントにしたいと考えています。

さらに、学習館内においては、小さな子どもから高齢者までのすべての方が利用しやすい施設に改善するとともに、展示室内も少しずつですが更新しています。2006年度末には自然や海の生きものに関する図書や専門書を増やし、来館者がいつでも自由に使えるように公開しています。今後も展示内容のリニューアル事業に向けた準備を進めながら、学習館が山陰海岸の豊かな自然を愛する人々の交流の場となるように活動していきます。

(学芸員 和田 年史)



普及活動一覧

- ◆野外観察会「春の海辺ウォッチング」【対象】一般・小学生以下は保護者同伴
4月28日(土) 13:00~15:00/学過館周辺の海辺 **要申込 4/14(土)~**
- ◆野外観察会「子どもの日『磯の観察会』」【対象】家族
5月5日(土・祝) 9:00~15:00/熊井浜 **要申込 4/21(土)~**
- ◆野外観察会「スナガニの観察会」【対象】一般・小学生以下は保護者同伴
6月23日(土) 15:00~19:00/熊井浜 **要申込 6/9(土)~**
- ◆野外観察会「夏休み『磯の観察会』」
7月21日(土)、22日(日)、28日(土)、
29日(日)、8月4日(土)、5日(日)
9:00~15:00/熊井浜
【対象】家族 **要申込 7/7(土)~**
- ◆野外観察会
「浦富海岸スノーケリング体験」
8月25日(土)、9月22日(土)~23日(日・祝)、
10月7日(日)、9:00~16:00
/城原海岸又は熊井浜
【対象】一般・高校生以上 **要申込 8/11(土)~**
- ◆野外観察会「ウミホタルの観察会」
9月8日(土)
15:00~21:00/観察場所未定
要申込 8/25(土)~



鳥取県立博物館付属 山陰海岸学習館

■開館時間：9時~17時（7月・8月の毎週土曜日は18時まで開館）（入館無料）
 ■休館日：原則として月曜日（祝日の場合は翌平日）
 （7/20~8/31の間は毎日開館）
 【お問い合わせ】 〒681-0001 鳥取県若美郡若美町牧谷1794-4
 電話・FAX: 0857-73-1445
 E-mail: saninkaigan@pref.tottori.jp

収 蔵 管 理

「人の目」による資料管理

博物館には、館内所蔵の貴重な資料や美術作品を県民共有の財産として後世まで伝える義務があります。こうした資料の大敵は虫やカビです。これまで博物館では、虫やカビによる被害を防ぐために化学薬剤による燻蒸（くんじょう）を行ってきました。ところが、化学薬剤を使うと人や環境に少なからず害がおよびます。当館では、2006年度より全国の博物館に先駆けて、薬剤に頼らない「人の目」による資料管理をはじめました。今後とも専門員が、より一層、館内の害虫の発生数や温湿度に目を配らせて、虫やカビから資料を守ってゆきます。

また、本年度は久松公園周辺を散策して、そこで見られる害虫類やその天敵などを紹介する講座も予定しております（詳細についてはP8をご参照下さい。）こちらにも是非ご参加ください。

*日本海新聞2007/1/4版、産経新聞2007/1/14版、鳥取県立博物館「研究報告」44号をご参照ください。（資料管理専門員 佐藤 隆士）



収蔵されている貴重な自然資料

美術展示

【1階 美術展示室】鳥取県にゆかりのある仏像、工芸品等の常設展示の他、下記の計画で近代以前の絵師の作品を展示します。

会 期	展 示 名	
4月4日(水)~5月20日(日)	「近世絵画にみる描画技法」	鳥取藩絵師を中心とした作品の技法に注目して展示紹介します。
5月24日(木)~7月8日(日)	「生田和孝/瀬戸 浩 —陶芸における2つのベクトル—」	民芸陶器を追究した生田和孝と、個人作家としての陶芸を追究した瀬戸浩の作品を紹介いたします。
7月12日(木)~8月19日(日)	「稲嶺とその時代」	稲嶺と江戸後期に活躍した画家の作品を展示紹介いたします。
8月22日(水)~9月30日(日)	「稲嶺 I」	鳥取藩絵師土方稲嶺の没後200年を機に前・後期に分けて、その画業を紹介いたします。

【2階 美術展示室】鳥取県にゆかりのある、近現代の美術作品を展示します。

会 期	展 示 名	
7月10日(火)~8月26日(日)	子ども向け企画 「Go!Go!アート探検隊」	ヒントを元に会場に点在する宝を集めたり、絵画の謎を解いていく、子ども向けの楽しい展覧会です。

移動美術館

「県立博物館所蔵美術品展 一色一」

鳥取県立博物館が所蔵している油絵画から、色が象徴的に使用されている作品を紹介いたします。

会 期	会 場
6月7日(木)~6月26日(火)	智頭町「石谷家住宅」 一号蔵展示室
9月22日(土)~10月9日(火)	北栄町 北条歴史民俗資料館

民工芸品 販売コーナー

平成19年2月から当館で鳥取県の伝統的民工芸品の展示販売が始まりました。流しびなの乗るさん俵、きりん獅子や猩猩のお面、麒麟獅子の壁掛け、木彫の十二支などを展示販売しています。以下のURLで価格等を紹介しておりますのでご利用ください。
 URL: <http://www.z-tic.or.jp/p/museum/info/101/>



講座・観察会・アートシアター

LECTURE・FIELD STUDY・ART THEATER

■自然部門 ■人文部門 ■美術部門

2007 4 APR.	《天体観望会》 「春の星を見る会」	■日 時 4月21日(土)18時30分～20時30分 ■対 象 小学生以上	2007 8 AUG.	《人文講座》江戸文化体験講座 「江戸の起こし絵をつくろう」	■日 時 8月4日(土)10時～12時 ■詳 要 申込 小学4～6年生とその保護者 定員30名
	《アートシアター》 「無防備都市」	■日 時 5月13日(日)14時～ ■人 数 一般・定員250名(先着順)		《アートシアター》 「ニュー・シネマ・パラダイス」	■日 時 8月4日(土)14時～ ■人 数 一般・定員250名(先着順)
2007 5 MAY.	《野外観察会》 「学芸員と楽しむ動物ウォッチング」	■日 時 5月13日(日) 集合時間：9時～12時 ■場 所 鳥取市栲嶺公園 ■詳 細 小学生以上・定員30名(先着順)	2007 9 SEP.	《人文講座》体験考古学講座 「勾玉を作る」	■日 時 8月5日(日)10時～12時、13時30分～15時30分 ■人 数 要申込 小学高学年とその保護者 定員各回30名
	《学芸員講座》 「近世絵画の描画技法について」	■日 時 5月19日(土)14時～15時30分 ■人 数 一般・定員40名(先着順)		《人文講座》江戸文化体験講座 「江戸のはんこをつくろう」	■日 時 8月11日(土)10時～12時 ■対 象 要申込 小学高学年 定員20名
2007 6 JUN.	《人文講座》体験考古学講座 「古代生活を体験する」	■日 時 5月20日(日)9時30分～13時30分 ■会 場 鳥取砂丘・柳茶屋キャンプ場 ■人 数 要申込 小学高学年とその保護者 定員30名	2007 8 AUG.	《自然講座》 「化石レプリカを作ろう」	■日 時 8月12日(日) 午前10時30分～12時 午後13時30分～15時(午前・午後各1回) ■対 象 要申込 中学生、小学生定員各回20名(先着順)
	《学芸員講座》 「マクロ撮影で楽しむ身近な植物」	■日 時 5月27日(日)13時30分～16時00分 ■詳 細 要申込 一般20名(先着順) (小学生は保護者同伴)		《人文講座》 「鳥取県の民話を聞く会(1)」	■日 時 8月12日(日)14時～15時 ■対 象 小学校低学年
2007 6 JUN.	《学芸員講座》 「足元の自然を楽しむ初夏の害虫」	■日 時 6月2日(土)10時～13時 ■会 場 鳥取市久松公園(鳥取城跡周辺) ■詳 細 要申込 小学生以上定員30名(先着順)	2007 8 AUG.	《学芸員講座》 「足元の自然を楽しむ初秋の害虫」	■日 時 8月18日(土)10時～12時 ■会 場 鳥取市久松公園(鳥取城跡周辺)集合場所：県立博物館玄関前 ■人 数 要申込 小学生以上 定員30名(先着順)
	《人文講座》映画上映会 「三朝小唄」(1929年 人見吉之助監督作品)	■日 時 6月3日(日)14時～15時 ■人 数 一般・定員250名		《天体観望会》 「夏の星を見る会2」	■日 時 8月18日(土)19時00分～21時00分 ■会 場 県立博物館前庭 ■対 象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
2007 7 JUL.	《学芸員講座》 「鳥取県の祭り・行事」	■日 時 6月10日(日)14時～15時30分 ■人 数 一般・定員250名(先着順)	2007 9 SEP.	《自然講座》 「夏休みの標本調べ相談室」	■日 時 8月19日(日)10時～15時 ■対 象 小学生以上
	《人文講座》江戸文化体験講座 「とっとり城下町ウォーク」	■日 時 6月17日(日)10時～12時 ■詳 細 申込必要 一般・定員20人		《県立博物館・県立図書館連携講座》 「郷土の資料を読む②」 近世の紀行文を読む②	■日 時 8月25日(土)15時～17時 ■会 場 鳥取県立図書館2階小研修室 ■人 数 一般・定員30名
2007 7 JUL.	《アートシアター》 「ベニスに死す」	■日 時 7月8日(日)14時～ ■人 数 一般・定員250名(先着順)	2007 9 SEP.	《野外観察会》 「秋の鳴く虫の夕べ in 氷ノ山」	■日 時 8月25日(土)18時30分～20時30分 ■会 場 集合場所：山自然ふれあい館 響の森(八頭郡若桜町つくよね) 申込先水ノ山自然ふれあい館「響の森」小学生以上小学生は保護者同伴定員30名(先着順)
	《天体観望会》 「夏の星を見る会1」	■日 時 7月14日(土)19時～21時 ■場 所 県立博物館前庭 ■人 数 小学生以上		《学芸員講座》 「現代美術と自然-ランドアートについて」	■日 時 8月26日(日)14時～15時30分 ■人 数 一般・定員40名(先着順)
2007 7 JUL.	《人文講座》体験考古学講座 「石器を作る」	■日 時 7月16日(月・祝) 10時～12時、13時30分～15時30分 ■詳 細 要申込 小学高学年とその保護者 定員各回20名	2007 9 SEP.	《アート・フィールド・ウォーキング》 「大久保英治とたどる木喰上人の道Ⅱ」	■日 時 8月29日(水)～9月23日(日) 各日10:00～16:00頃 ■会 場 鳥取市岩戸海岸～三朝町県境付近(小雨決行) ■人 数 要申込 対象:小学生以上20名程度(先着順)
	《県立博物館・県立図書館連携講座》 「郷土の資料を読む①」近世の 紀行文を読む①	■日 時 7月28日(土)15時～17時 ■会 場 鳥取県立図書館2階小研修室 ■人 数 一般・定員30名		《郷土史講座》 「鳥取藩の能楽」	■日 時 9月1日(土)14時～15時30分 ■対 象 一般・定員250名
2007 7 JUL.	《野外観察会》 「川原の石を調べよう！」	■日 時 7月29日(日)10時～14時30分 ■場 所 鳥取市河原町和奈見橋付近の千代川原 ■詳 細 小学生以上定員30名(先着順)	2007 9 SEP.	《学芸員講座》 「杵島隆の作品について」	■日 時 9月15日(土)14時～15時30分 ■対 象 一般・定員40名(先着順)
	《自然講座》 「昆虫標本を作ろう！」	■日 時 7月29日(日)9時30分～11時30分 ■対 象 小学生以上 ■人 数 定員40名(先着順)		《県立博物館・県立図書館連携講座》 「郷土の資料を読む③」近世の紀行文を読む③	■日 時 9月22日(土)15時～17時 ■会 場 鳥取県立図書館2階小研修室 ■対 象 一般・定員30名
2007 7 JUL.	《学芸員講座》 「こどものためのGo!Go!アート探検ツアー」	■日 時 7月29日(日)14時～15時30分 ■人 数 要申込・定員40名(先着順)	2007 9 SEP.	《アートシアター》 「スタジオ・アッパーの世界」	■日 時 9月24日(月)14時～ ■対 象 一般・定員250名(先着順)

企画展の関連行事はP2・P3に掲載。特に記載がないものは、申込不要、無料です。 申込・お問い合わせは学芸課(自然・人文部門)または美術振興課(美術部門)へ。

展覧会カレンダー EXHIBITION CALENDAR

■土曜(午後7時まで開館) ■日曜・祝日



編集後記

鳥取県立博物館では従来「特別展」、「企画展」として行っていました展示をすべて「企画展」として統一することにしました。また、美術部門の「巡回展」を「移動美術館」としました。

MUSEUM PRESS ③でも新しく整理統合された名称でよりわかりやすく掲載するよう心がけました。新年度も鳥取県立博物館ならびに「MUSEUM PRESS / 鳥取県立博物館ニュース」をよろしくお願いたします。

鳥取県立博物館ニュース MUSEUM PRESS No.3

平成19年(2007年)3月20日発行

編集・発行 鳥取県立博物館

住所 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地
TEL 0857(26) 8042(代)
FAX 0857(26) 8041
URL <http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm>
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.jp

